

アートプロジェクト

I WISH TOMORROW

「I WISH TOMORROW (IWT)」は、人々の願いを星空に投影するインタラクティブ・アートプロジェクトである。七夕の伝統に着想を得て、社会的・文化的に疎外された人々にも開かれた表現の場を提供し、希望や夢を共有することを目的としている。本プロジェクトはこれまでアントワープなどで実施してきた。願いごとは短冊や絵として投稿され、デジタル化されたのち、LEDディスプレイにより空間に投影される。展覧会期間中は、願いごとをIWTのウェブサイト (www.iwt-project.com) を通じ投稿することも可能。会場にはQRコード等を設置し、来場者が容易に参加できる仕組みを整える。あわせて地域の学校、図書館、福祉施設でのワークショップも予定している。IWTは、世代や文化の違いを超えた対話と共感を促進し、社会課題や孤立、環境問題への関心を可視化することを試みるものである。展示終了後には記録を出版し、地域のアーカイブとして還元することを目指す。

Maša Travljanin (スロベニア)

マシャ・トラヴリアニン

芸術的实践は、現場でのインスタレーション、インタラクティブなプロジェクト、視覚的パターンを通じて物語を語ることに焦点を当てている。インタラクティブな作品を通じて、私は集合的な人間の経験を探求し、観客が物語の形成に積極的に参加する空間を作り出す。作品の意味は静的ではなく、メディアと観客との相互作用を通じて変化し、社会的な対話を生み出す。儀式や神話からインスピレーションを得て、それらの教えを反映させ、現代社会に対する対位法として使用している。土は参加型インスタレーションで繰り返し使用される素材となり、常に借りては返されるものだ。この素材は、物理的なつながりの基盤となり、平等化の媒介として機能する。建築家やアーティストと協力し、国際的な公共プロジェクトで現場芸術的介入を行っている。

市民参加のかたち：ワークショップ・展示鑑賞

